

# 【資料4】LIBOR の算出・公表停止に向けた日本証券クリアリング機構の対応について

## 1. OISへの移行に向けた当社の施策等について

### 1-1. 概要

➤ LIBOR参照スワップのOISへの移行を促進すべく、当社では以下の施策を実施（2020年4月）

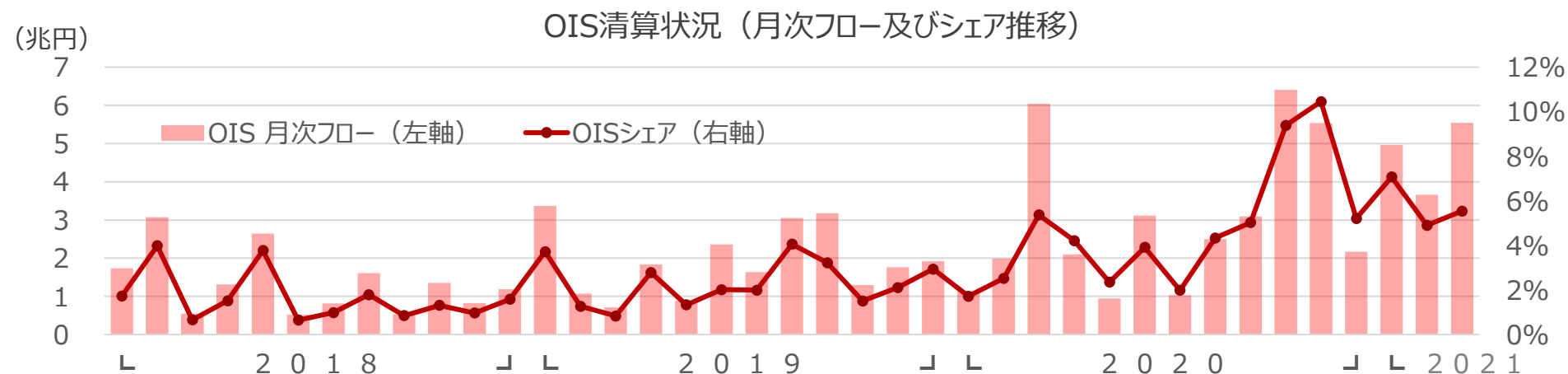
- ・ LIBOR – OISベーススワップの清算適格化
- ・ コンプレッション※<sup>1</sup>を利用したLIBOR取引からOIS取引への変換サービス※<sup>2</sup>への対応

※<sup>1</sup> 清算済取引を満期到来前に解約することにより、取引残高（想定元本金額、件数）の削減・圧縮を図る制度

※<sup>2</sup> TriOptima社のサービスを利用して行う「一括コンプレッション」において同社が新たに導入した「Risk Transformation」サービスを利用することで、希望する利用者は、清算済LIBOR取引を解約するとともに、OIS取引に置き換えを図ることが可能となった。

### 1-2. OISの清算状況

➤ 2021年3月までのOISに係る清算状況の推移は以下のとおり（新規債務負担金額ベース）。



# LIBORの算出・公表停止に向けた日本証券クリアリング機構の対応について

## 2. OISへの一括変換について

### 2-1. 概要

- 当社の金利スワップの清算済取引のうち、JPY-LIBORを変動金利の決定方法とするものについて、クライアント取引分を含めて、すべてTONA(OIS) に変換する。

### 2-2. 変換のタイミング

- JPY-LIBORの公表が停止される、本年12月31日までの特定の時点※とする。  
※具体的な変換のタイミングは、今後決定

### 2-3. 変換実施後のJPY-LIBORを参照する金利スワップの取扱い

- TONA(OIS) への一括変換を実施した以降については、JPY-LIBORを参照する金利スワップは、清算非適格とする。

### 2-4. 今後の予定

- 変換方法の一部詳細内容について、他清算機関における取扱いも踏まえつつ、当社清算参加者等と継続して検討・決定
- 円滑な一括変換を実現すべく、清算参加者等を交えたテスト・移行リハーサル等を経て、一括変換を実施

ご参考（当社HPにおけるリリース）：金利指標改革（LIBORの恒久的な公表停止）に向けた当社金利スワップ清算約定の取扱いについて（OISへの一括変換について）

[https://www.jpx.co.jp/jscc/information/news/20210326\\_2.html](https://www.jpx.co.jp/jscc/information/news/20210326_2.html)